

# 日本語の読み書きにつまずく児童・生徒への英単語読み書き指導

～日本の児童・生徒にわかりやすいフォニックス教材の開発～

## 要 旨

日本語の読み書きにつまずく児童は、音韻認識に弱さがあり、二つの音素をブレンディングして1音節を作ることが苦手なため、英語学習では一層つまずきやすい。

筆者らは、通級指導教室での英語の読み書き指導にフォニックス指導を取り入れ、日本語の読み書きにつまずいている児童・生徒のために、教材や指導ステップを工夫してきた。その中で、「発音絵記号」や「フォニックス英単語カード」など日本の児童・生徒にわかりやすい指導教材を活用することで英単語の読み書きの指導効果をあげてきた。

## 企画趣旨

英語は表音文字であるアルファベットを組み合わせて表記される。日本語の音の単位であるモーラに比べて、より小さい音韻単位である音素の認識が必要なため、日本語よりさらに高度な音韻認識の力が必要とされる。そのため、日本語の読み書きにつまずきのある子どもは、アルファベットの音素の習得（文字と音の連合）や子音と母音のブレンディングが苦手なため、英語の読み書きでつまずく可能性が大きい。筆者らは、中学校通級指導教室や小学校通級指導教室で、フォニックスを取り入れた英単語の読み書き指導が必要と考え、指導教材や指導ステップを開発し、個別指導の中で活用してきた。

小学校高学年に英語学習が導入されるにあたり、日本語の読み書きにつまずきのある児童が英語学習に苦勞することは容易に想像できる。そこで、筆者らが開発した教材や指導ステップを紹介し、英語の読み書きにつまずく児童・生徒の英語学習について考えていきたい。また、筆者らと同様、決して英語が専門ではないが英語指導を実践しなければならない小学校の先生方にとまどいを軽減できることを願っている。